

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2024年2月9日

事業所名 たいじゅ園

チェック項目		改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	国の設置基準で定められたスペースを確保しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	職員配置基準より多い職員数を配置しています。活動内容によってはさらに手厚く配置するなど、臨機応変に対応しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	施設設備等は全てバリアフリー化されています。危険個所を発見した際には、その都度工夫しながら臨機応変に対応してまいります。
	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	情報共有・報連相の徹底を心がけて、職員同士の意思疎通を図るために、職員会議は全員出席しやすい日程にしています。会議では、目標設定の確認と振り返りを行っています。PDCAサイクルを意識して記録を取ること始めて、改善に向けた意見が出やすくなりました。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	評価表の回答結果を職員に周知し、意識の改善や事業所の目標設定に役立てています。

業務改善	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	毎年、ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在、外部評価は受けていませんが、風通しの良い施設運営を意識し、支援の質の向上・改善に努めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	施設内研修・外部からの講師を招いての研修等を実施し、職員の資質の向上に努めています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者さんとの面談を通して、より細かなアセスメントが取れるように努めています。その後の職員会議にて、偏りのない支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者さん全員に同一のアセスメントシートの記入をお願いし、それを使用して評価しています。評価の仕方は、利用者さんの状況に応じて工夫しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員間で協議・試行錯誤を繰り返し、利用者さんの特性に合わせて、個別活動と集団活動を取り入れたプログラムを立案・実行しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	様々な経験を積めるようにいくつかの活動を準備し、固定化しないように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日、長期休みでは利用時間が変化するため、取り組む活動内容を事前に企画立案し実行しています。

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	利用者さん一人ひとりのニーズや個々の課題・可能性を様々な視点で組み合わせ、偏りのない支援計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	小ミーティングを行い支援内容や役割分担等を確認し、日々の活動に取り組んでおります。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に職員で話し合う時間を作り、出来たことやつまづいているところなど報告し合っ、情報が共有できるように努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	職員全員が把握できる様、記録を詳細に取っています。日誌や個別ファイルに記録し、様子を見返せるようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	計画の見直しは半年に1回定期的に行っていますが、必要に応じた見直しもその都度判断して行えるよう努めています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	個々の利用者さんの発達の状態によって組み合わせを工夫しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	送迎時には学校の先生と情報共有をさせていただいています。送迎時間に変更がある時には、学校や保護者さんと連絡を取り合い、確認しています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的なケアが必要な方のご利用はありません。
②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学前に利用されていた施設とは、相談支援専門員さんと情報共有を行っています。また利用前には必ず施設見学を行ってもらい、情報共有と相互理解に努めています。
②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	担当者会議等を行いスムーズに移行できるように心がけています。
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センターとの連携を今後とも密に図っていきます。
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	散歩や公園に遊びに行った際、地域の子どもたちと交流する機会があります。
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	参加しています。
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	保護者の方と日頃の状況を伝え合い、共通理解を持てるよう努めています。
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	必要に応じて個別に連絡・面談を実施し、子どもとの関わり方などのアドバイスを行っています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明をさせていただいています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者様からのご相談は随時受け付けております。必要な場合は持ち帰り、職員間で話し合い対応するように努めています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在活動支援は行っておりませんが、今後情報交換できる機会を作るよう検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情対応については、契約時に重要事項説明書で詳しく説明を行っています。また苦情を頂いた際は情報を職員間で共有する機会を設け、再発防止に努めています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月お便りを発行し、お子様の様子や行事等をお知らせしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	事務所内に書庫を設置して全ての個人情報ファイルを保管しています。営業終了時には事務所の出入り口も施錠するなど十分注意して取り扱っています。写真撮影や掲載等、個人情報に関わる部分については事前に保護者の方々に説明し、同意する旨を書面にて頂いています。破棄する書類はシュレッダー処理をしています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	日頃から、書面・写真カード・シンボルカード等の支援ツールを取り入れ情報伝達のための工夫と配慮をおこなっています。

	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在コロナ禍のため、実施出来ていません。規制が緩和された際には、開催を検討していきます。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	職員間では周知しています。しかし、全保護者様へのお伝えが、十分にできていません。マニュアルがつぼみ園玄関や事務所など常に確認できる場所に掲示してある旨を周知していきます。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	消防署に依頼をして、通報、火災訓練を年2回行っています。事業所内でも避難訓練を月1回行い、職員の役割を確認しています。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	セルフチェックシートを活用し、また内部研修も行っています。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	個別支援計画にはやむを得ず身体拘束を行う場合について記載しています。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	おやつ提供の際に、アレルギーの有無を確認し、ご家族にも同意をいただいています。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ケガや事故などの危険がありそうな場面では、ヒヤリハットを作成後、日誌・ミーティング等で共有し再発防止に努めています。